

県南広域振興局長 様

提出者

住所 〒025-0065 岩手県花巻市星が丘二丁目16番12号

氏名 株式会社 理水興業

代表取締役 今野 秀實

（法人にあっては、その名称及び代表者の氏名）

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	株式会社 理水興業	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県花巻市星が丘二丁目16番12号	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	75 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	92 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
株式会社理水興業 本社	〒025-0065花巻市星が丘二丁目16番12号	22 kℓ
汚泥リサイクルセンター	〒024-0211北上市口内町松越134番1	53 kℓ
		kℓ

備考1 \*印の欄には、記載しないこと。

- エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載する
- エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別紙（別添）を作成の上、添付してください。（A4）



別紙 その1 (工場又は事業場用) (株)理水興業 本分  
 1 二酸化炭素の排出の状況

当該年度のエネルギー使用量				二酸化炭素の排出の状況				
項目	使用量 (A)	原油換算量 (kℓ)	排出係数(B)	当該年度の排出量 (C=A×B) (t-CO <sub>2</sub> )	前年度の排出量 (D) (t-CO <sub>2</sub> )	対前年度比 (%) (D・C)/D×100)		
原油 (コンデンセートを除く)	kℓ		2.62 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
原油のうちコンデンセート (NGL)	kℓ		2.38 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
揮発油	1.439 kℓ	1	2.32 t-CO <sub>2</sub> /kℓ	3.3	3.2	3		
ナフサ	kℓ		2.24 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
灯油	5.763 kℓ	5	2.49 t-CO <sub>2</sub> /kℓ	14.3	19.2	▲ 26		
軽油	5.218 kℓ	5	2.58 t-CO <sub>2</sub> /kℓ	13.5	16.1	▲ 16		
A重油	kℓ		2.71 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
B・C重油	kℓ		3.00 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
石油アスファルト	t		3.12 t-CO <sub>2</sub> /t					
石油コークス	t		2.78 t-CO <sub>2</sub> /t					
石油ガス	液化石油ガス (LPG)	t	3.00 t-CO <sub>2</sub> /t					
	石油系炭化水素ガス	千m <sup>3</sup>	2.34 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	0.062 t	2.70 t-CO <sub>2</sub> /t					
	その他可燃性天然ガス	千m <sup>3</sup>	2.22 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
石炭	原料炭	t	2.61 t-CO <sub>2</sub> /t					
	一般炭	t	2.33 t-CO <sub>2</sub> /t					
	無煙炭	t	2.52 t-CO <sub>2</sub> /t					
石炭コークス	t		3.17 t-CO <sub>2</sub> /t					
コールタール	t		2.86 t-CO <sub>2</sub> /t					
コークス炉ガス	千m <sup>3</sup>		0.85 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
高炉ガス	千m <sup>3</sup>		0.33 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
転炉ガス	千m <sup>3</sup>		1.18 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
その他の燃料	都市ガス	千m <sup>3</sup>	2.23 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
	( )	( )	t-CO <sub>2</sub> /( )					
	( )	( )	t-CO <sub>2</sub> /( )					
産業用蒸気	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
産業用以外の蒸気	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
温水	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
冷水	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
小計		11		31.1	38.5	▲ 19		
電気	電気事業者	昼間買電	41.963 千kWh	11	0.488 t-CO <sub>2</sub> /千kWh	20.5	22.2	▲ 8
		夏期・冬期における電気需要平準時間帯	千kWh					
		夜間買電	千kWh		0.488 t-CO <sub>2</sub> /千kWh			
	その他	上記以外の買電	千kWh		0.550 t-CO <sub>2</sub> /千kWh			
		自家発電	千kWh					
小計	41.963 千kWh	11		20.5	22.2	▲ 8		
合計		22		51.6	60.7	▲ 15		
※ 燃料を用いて自家発電した電気のうち、他社に販売した量		千kWh		t-CO <sub>2</sub> /千kWh				
合計								

- 備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。  
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。  
 3 エネルギー使用量の使用量(A)の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。  
 4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「( )」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。  
 5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。



別紙 その1 (工場又は事業場用) (株)理水興業 汚泥リサイクルセンター分  
1 二酸化炭素の排出の状況

当該年度のエネルギー使用量				二酸化炭素の排出の状況				
項目	使用量 (A)	原油換算量 (kℓ)	排出係数(B)	当該年度の排出量 (C=A×B) (t-CO <sub>2</sub> )	前年度の排出量 (D) (t-CO <sub>2</sub> )	対前年度比 (%) (D-C)/D×100)		
原油 (コンデンセートを除く)	kℓ		2.62 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
原油のうちコンデンセート (NGL)	kℓ		2.38 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
揮発油	0.136 kℓ	0	2.32 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
ナフサ	kℓ		2.24 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
灯油	0.375 kℓ	0	2.49 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
軽油	5.076 kℓ	5	2.58 t-CO <sub>2</sub> /kℓ	13.1	13.1	0		
A重油	kℓ		2.71 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
B・C重油	kℓ		3.00 t-CO <sub>2</sub> /kℓ					
石油アスファルト	t		3.12 t-CO <sub>2</sub> /t					
石油コークス	t		2.78 t-CO <sub>2</sub> /t					
石油ガス	液化石油ガス (LPG)	t	3.00 t-CO <sub>2</sub> /t					
	石油系炭化水素ガス	千m <sup>3</sup>	2.34 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
可燃性天然ガス	液化天然ガス (LNG)	0.87 t	2.70 t-CO <sub>2</sub> /t	2.3	4.2	▲ 45		
	その他可燃性天然ガス	千m <sup>3</sup>	2.22 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
石炭	原料炭	t	2.61 t-CO <sub>2</sub> /t					
	一般炭	t	2.33 t-CO <sub>2</sub> /t					
	無煙炭	t	2.52 t-CO <sub>2</sub> /t					
石炭コークス	t		3.17 t-CO <sub>2</sub> /t					
コールタール	t		2.86 t-CO <sub>2</sub> /t					
コークス炉ガス	千m <sup>3</sup>		0.85 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
高炉ガス	千m <sup>3</sup>		0.33 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
転炉ガス	千m <sup>3</sup>		1.18 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
その他の燃料	都市ガス	千m <sup>3</sup>	2.23 t-CO <sub>2</sub> /千m <sup>3</sup>					
	( )	( )	t-CO <sub>2</sub> /( )					
	( )	( )	t-CO <sub>2</sub> /( )					
産業用蒸気	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
産業用以外の蒸気	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
温水	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
冷水	GJ		0.06 t-CO <sub>2</sub> /GJ					
小計		6		15.4	17.3	▲ 11		
電気	電気事業者	昼間買電	183.39 千kWh	47	0.488 t-CO <sub>2</sub> /千kWh	89.5	81	10
		夏期・冬期における電気需要平準時間帯	千kWh					
		夜間買電	千kWh		0.488 t-CO <sub>2</sub> /千kWh			
	その他	上記以外の買電	千kWh		0.550 t-CO <sub>2</sub> /千kWh			
		自家発電	千kWh					
小計	183.39 千kWh	47		89.5	81	10		
合計		53		104.9	98.3	7		
※ 燃料を用いて自家発電した電気のうち、他社に販売した量		千kWh		t-CO <sub>2</sub> /千kWh				
合計								

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。  
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。  
 3 エネルギー使用量の使用量(A)の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。  
 4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「( )」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。  
 5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。

## 2 地球温暖化対策計画の達成状況

### 【目標値の達成状況(進捗状況)】

・令和3年度に、令和6年度まで毎年前年度対比で1%削減を目標に掲げ取り組んでおりますが、令和4年度の本社分は対前年度比15%の削減につながりました。(令和3年度の本社分二酸化炭素の排出状況の報告のうち、軽油の使用量が車両とそれ以外の重機等と重複した数値で間違っていました。実際の使用数量6.247kℓで二酸化炭素の排出量16.1t-CO2となります。)  
・汚泥リサイクルセンターにおいては車両以外の燃料及び熱は11%の削減でしたが電気については、機械等の稼働率が上がり10%の増加となりました。会社全体として引き続き削減が継続出来るように取り組みを進めたいと考えます。

### 【具体的な取組状況】

- ①電気・・・引き続き昼時間の完全消灯、不在室の消灯を推進し省エネ機器への変更を検討する。汚泥リサイクルセンターにおいて運転管理の計画を見直し、少しでも節電に繋がるよう心掛ける。
- ②灯油・・・エコアクション21推進のもと、冷暖房の適正温度の設定、サーキュレーターの活用により灯油消費量25%の削減が  
出来ました  
○業務車両の事前運行計画を行い効率的な運行を行っている。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

## 3 その他の地球温暖化の対策の実施状況

- ・社内及び各現場において、ごみ等の発生抑制・分別の徹底・リサイクルの推進。
- ・各部署の資材等在庫管理の徹底。
- ・環境対策等の関連講習会に積極的な参加をおこなう。

別紙 その2 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (4年度)

自動車		二酸化炭素の排出			燃料使用 量対前年 度比(%)
燃料別	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	47 ( 7 )	46,527 ℓ	2.32 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	107,943.1 kg-CO <sub>2</sub>	0.57%増
軽油	45 ( )	149,518 ℓ	2.58 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	385,757.1 kg-CO <sub>2</sub>	0%
LPG	( )	kg	3.00 kg-CO <sub>2</sub> /kg	kg-CO <sub>2</sub>	
電気	( )	kWh	0.488 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	kg-CO <sub>2</sub>	
その他	( )		kg-CO <sub>2</sub> /( )	kg-CO <sub>2</sub>	
合計	92 ( 7 )			493,700.2 kg-CO <sub>2</sub>	

備考1 保有台数欄の ( ) には、ハイブリッド車の台数 (内数) を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令 (平成11年政令第143号) の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

・ガソリンについては、車輛の稼働率があがり、若干であるが増加となった。また、軽油については令和3年報告で156,415ℓでしたが再度精査した結果、149,508ℓと間違っていました。訂正し令和4年実績はほぼ同じでした。

【具体的な取組状況】

- ・年2回実施している社内安全委員会主催の安全講習の中で、エコドライブへの取り組みを推進している。
- ・車輛の運行前点検の実施の徹底を図り早めの整備に繋げる。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項